

index

2025〈第36号〉

- 医師連盟委員長挨拶
- 都市医師連盟だより(神戸市医師連盟須磨支部)
- 兵庫県医師連盟定時委員会報告・議決事項について
- 国民医療を守る議員の会
- 日本医師連盟拡大選挙対策会議・かまやちさとし決起大会
- 第27回参議院議員選挙に関する伝達会議
- かまやちさとし氏 選挙カー活動報告
- かまやちさとし個人演説会
- 第27回参議院議員選挙結果報告・比例区/選挙区

兵庫県医師連盟ニュース

発行所 兵庫県医師連盟

〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11

Tel 078-265-2328

http://www.hyogo-ishirenmei.jp

編集責任者 八田 昌樹



医師連盟委員長挨拶



兵庫県医師連盟
委員長 八田 昌樹

今年の夏は特に暑さが厳しく、全国で猛暑日、酷暑日が続いています。丹波市では41・2度と日本歴代最高気温を更新しました。

7月20日に第27回参院選が行われました。自民、公明両党は参院全体の過半数を維持できる50議席を下回り、衆院に続いて参院でも少数与党に転落しました。自民は改選52議席から39議席と減らし、公明は改選14議席から8議席と減りました。立憲民主党は22議席のままで、日本維新の会は改選5議席から7議席に増えました。一方、国民民主党は改選4議席から17議席に大きく伸び、参政党も改選1議席から14議席に大幅に増やし、躍進しました。立憲が伸び悩む一方で、国民民主や参政党は伸び、政局の多極化が進んでいます。共産党は3議席で改選7議席を下回り、れいわ新撰組が3議席、日本保守党は2議席、社民党は1議席を確保し、政治団体「チームみらい」も1議席を獲得しました。今後の政局の見通しとして、少数与党の自公

は連立の枠組みを拡大する必要があり。連立に加わることで衆参ともに過半数に達する政党は単独では立憲、維新、国民民主に限られ、政府はこの3党を中心に連立を模索していくのではないかと考えています。

兵庫選挙区(改選数3)は過去最多の13人が激戦を展開し、無所属で前明石市長・元衆議院議員の泉房穂氏が選挙区で全国1位の822,407票を獲得し、トップ当選しました。2位に県医師連盟支援で現職の高橋光男氏(公明党)、そして第3位には県医師連盟が推薦する現職の加田裕之氏(自民党)が入り見事に再選を果たしました。加田氏はこれから防災の充実に取り組まれると聞いておりますが、今まで同様社会保障のより良い展開のために兵庫県医師連盟との協力・連携を続けて行かれることを期待しています。

【神戸市医師連盟須磨支部】
須磨という地名は、六甲山系の西端、畿内の西すみに位置するため「すみ」がなまって「すま」になったといわれています。南部の板宿を中心とする既成市街地、北部の妙法寺や名谷を中心とする新興市街地などが配置され、多くの名所が点在しています。須磨区は面積約29平方キロメートル、人口約16万で1994年より衆議院議員総選挙における小選挙区は垂水区とあわせ兵庫県第3区となっています。

第3区の衆議院選では、長く民主党(旧社会党系)の土肥隆一氏が安定した支持を受けて勝ち続けてきた選挙区であります。2005年の総選挙では自由民主党の新人関芳弘氏に敗れ、比例復活で当選。2009

前回の自見氏の票を80票上回りました。自民党の票が減少する中で、ある程度評価できるのではないのでしょうか。兵庫県医師連盟の委員のみなさんが、サポーター名簿に始まってポスター掲示、LINE登録、葉書、電話そして選挙カー、各地区での決起大会とご協力していただいたおかげです。心から感謝申し上げます。また、日医連の坂本参与にはお忙しい中、各都市

医師連盟をくまなく訪問していただきありがとうございます。金范先生には、医療・介護・福祉を医療機関が安心して国民に提供できるように、また、そのために全国約922万の医療従事者の生活を改善し、職場環境を働きやすいものにするために頑張ってくださいと思います。もちろん、われわれも全面的に支援していくつもりです。

都市医師連盟だより

年の総選挙で関氏は次点となりましたがその後の2012年の総選挙では土肥氏が引退し、関氏が再び咲きました。この選挙の結果、民主党は初めて完全に議席を失った2014年・2017年の総選挙では関氏が危なげなく当選を重ねており、自民党が優位な選挙区になりつつあります。また、兵庫県自体も2017年の選挙で自民党及び公明党で全議席を独占しており、参院選でも民主党系は2013年・2016年の選挙で現職候補が落選しています。しかし、2021年の総選挙では、日本維新の会の和田有一朗氏が関氏に約9,000票差まで詰め、比例復活で初当選を果たしました。2024年の総選挙では関氏が勝利する一方で、国民民主党の向山好一氏と維新の和田氏が比例復活し3名の国会議員を送り出しています。このような歴史背景を持っています。

須磨区医師会では年2回の総会を開催し、これまでも来賓として政権与党の政治家の方がたを懇親会の場で紹介、懇談を行ってきました。ただ3年前の参議院選(組織内候補・自見はなこ氏)の選挙以降からは日本医師会政治連盟の方針に従う形で役員会の政治報告会への積極参加、県・市の政治連盟の行事参加を行い、区での年末総会においては忙しい中ではありますが、できる限り地域選出の自民党の閣議員に中央情勢報告をお願いしているところです。

さて本年7月20日には参議院選挙が行われ日本医師連盟から金范敏(かまやちさとし)日医副会長を組織内候補として擁立されています。かまやち氏はスローガンとして「伝える。届け。を掲げ、「医療・介護の今の深刻な状況を、正確にかつな



金范敏氏(右) 加田裕之氏(左) 小野連盟支部長(中央)
手提げバッグの中央には日本医科大学の校章

るべく幅広い方にお伝えする役割は、組織内候補がまず担うべきでしょう。そのためには、現状をきちんと説明し、理解、納得、同意を得る発信力が重要です」と述べられています。結果、自民党からは比例区はかまやちさとし氏、兵庫選

(一面より)

対応分を加算するという「足し算」の論理が加わった点などは「良い言葉が入ったものの」「まだまだ予断は許さない状況」であり、来年度予算編成作業が本格化する今秋以降の議論が重要になるとの見方を松本日医会長は示されています。

さて選挙は、私たち医療従事者の未来を大きく左右する重要な局面と考えます。医師連盟の推薦する候補者を上位当選させることは、私たちの生活基盤である診療報酬を守り医療機関の経営改善へと繋がる極めて重要な一歩となります。医師連盟としては、自分たちにできる支援活動を行うことで、できるだけ多くの皆さまに投票に行ってくださいと強く呼びかけたいと考えています。皆様一人ひとりの行動が、私たちの未来を切り拓くことになると思っています。

神戸市医師連盟須磨支部
支部長 小野一広

兵庫県医師連盟 定時委員総会 報告・議決事項について

6月15日(日)、兵庫県医師会館で開催し、令和6年度兵庫県医師連盟事業報告が了承され、また「令和6年度収支決算」事業について、原案通り決定されました。

国民医療を守る議員の会

医療崩壊の危機に警鐘

「国民医療を守る議員の会」
骨太方針への強力な働きかけを決議

去る2025年5月14日(水)、午前8時より衆議院第一議員会館にて「国民医療を守る議員の会」が開催され、医療現場が直面する未曾有の危機に対し、与党として強力に取り組む方針が確認されました。

会合には、顧問である田村憲久議員(自民党社会保障制度調査会長)や岸田文雄前総理をはじめ多数の国会議員が出席。日本医師会の松本吉郎会長も参加し、厚生労働省関係者も交え、古川俊治参議院議員の司会のもと、医療現場の窮状と今後の対策について熱心な議論が交わされました。

まず田村顧問より、医療現場の極めて厳しい経営状況が共有されました。田村顧問は、令和6年度診療報酬改定の実質的な質上げ評価がプラス0.61%に過ぎず、このままでは2年分の質上げ財源が1年目で枯渇しかねない指摘。さらに、厚生労働省のデータに基づき、病院経営の最頻値が赤字(0%~マイナス1%)であることを示し、平均値ではなく実態を表す「最頻値」を政策判断の基礎とすべきだと強く訴えました。

続いて、日本医師会の松本会長は、全国の病院の経常利益率が0.5%まで急落し、3~4割が赤字、半数が債務超過に陥っているという衝撃的なデータを報告。物価高騰や医薬品費の上昇が経営を圧迫し、「医療崩壊が進行中である」と警鐘を鳴らしました。兵庫県伊丹市の地域医療支援病院が閉院に追い込まれた事例も挙げられ、危機が現実のものであることが強調されました。

最後に、岸田前総理は、自身の政権で実現した歴史的な質上げの成果に触れ、「公定価格である医療分野も、この好循環に組み込まなければならぬ」と力強く語りました。多くの議員からも、医療従事者の賃金が上がらない異常事態が深刻な人材流出を招き、医療崩壊の引き金になっていることへの強い懸念が示されました。議論の核心は、政府の「骨太の方針2025」に医療現場の声をどう反映させるかに移りました。田村顧問は、従来の「経済物価動向に配慮」といった抽象的な表現では不十分だと断じ、補正予算による緊急の「つなぎ」措置が不可欠であると明言しました。財政論に關しても、「保険料率が上がる」との主張に対し、協会けんぽの潤沢な積立金を根拠に反論。医

療崩壊は経済全体を疲弊させるとし、保険者と医療提供者を「分断」させる議論を厳しく批判しました。出席された多くの議員からは、現在の社会保障費の財政フレームは「デフレ時代の遺物」であり、物価・賃金上昇に連動した柔軟な枠組みへ見直すべきなどの意見が噴出。厚生労働省の鹿沼保険局長も現場の窮状に理解を示し、補正予算と診療報酬改定を両輪とした対応を検討する意向を示しました。また、小児・周産期医療体制の強化が日本の未来への投資であることも確認され、岸田前総理は「少子化対策と表裏一体の重要政策だ」と述べました。

最後に、事務局から以下の4項目からなる決議案が提示され、全会一致で承認されました。

1. 経済成長の果実(消費税等)を医療の安定財源に活用すること
2. 社会保障費の財政フレームを「高齢化の伸びに抑制」から脱却させ、見直すこと
3. 診療報酬等において、賃金・物価の上昇を適切に反映させること
4. 小児・周産期医療体制を強力に維持・強化すること

医療崩壊を断固として防ぎ、国民が安心できる医療を守るため、与党一丸となって取り組むという固い決意が共有された。極めて重要な会となりました。

日本医師連盟拡大選挙対策会議・かまやちさとし決起大会

令和7年5月20日

令和7年5月20日に日本医師会館大講堂で「日本医師連盟拡大選挙対策会議」が開催されました。城守日医連盟常任執行委員の司会で茂松日医連盟副委員長の挨拶の後、2カ月に迫った参議院議員選挙における金范敏先生への「さらなる支援のお願い」として、資料を基にサポーター名簿登録数及びLINE登録数の報告並びにポスター掲示のお願い、投票方法について説明がありました。

第27回参議院議員選挙に関する伝達会議

令和7年6月15日、第27回参議院議員選挙に関する伝達会議が連盟定時委員総会に引き続き、かまやちさとし参議院比例代表候補者と加田裕之参議院兵庫選挙区候補者の列席のもと、兵庫県医師会館大会議室で開催されました。

八田昌樹兵庫県医師連盟委員長から開会の挨拶があり、続いて来賓の坂本泰三日医連参与から比例区はかまやちさとし候補者、選挙区は加田候補者への支持の要請がありました。そしてかまやちさとし候補者と加田候補者から選挙戦に向けての力強い決意表明と医師連盟からの強力な支援を熱く訴えられました。連盟執行部からは、選挙はがきの取扱方法や今後の活動について説明を行いました。



かまやちさとし決起大会必勝コール

会議終了後はかまやちさとし候補者と加田候補者が会館エントランスホールに揃って立ち、帰路に

の挨拶がありました。

そして、かまやちさとし参議院比例代表候補者から「これまでに頂いた支援を背負い、全力で国民に訴え、より多くの国会議員へ現状を強く訴え理解を求め、そして改善の施策に賛同を得られるよう全力で取り組みます」と決意表明が行われました。最後に須藤群馬県医師連盟委員長の音頭で必勝コールを行い、決起大会を終りました。



かまやちさとし参議院比例代表候補者



加田裕之参議院兵庫選挙区候補者

つく会議参加者ひとりのひとりと握手を交わし重ねて支援の願いをして送り出していました。ちょうど公示まで20日を切った時期に列席した連盟委員に2名の候補者が直接国政への熱い想いを届ける良い機会となりました。



令和7年7月9日 (水)
かまやちさとし氏

選挙カー活動報告

8:45 阪急塚口駅南側ロータリー

〈街頭演説者〉

黒川 治 兵庫県議会議員 (8区・尼崎市)

杉原加壽子 尼崎市医師連盟委員長

原 秀憲 尼崎市医師連盟副委員長



右から 黒川県議会議員、杉原尼崎市医連委員長 左から2番目 原尼崎市医連副委員長

10:00 JR 西宮駅南側ロータリー

〈街頭演説者〉

末松 信介 参議院議員

北川 泰寿 兵庫県議会議員 (7区・西宮市)

大江与喜子 西宮市医師連盟委員長



左から 北川県議会議員、大江西宮市医連委員長、末松参議院議員

13:10 三宮センター街東側入口前

〈街頭演説者〉

末松 信介 参議院議員

北浜みどり 兵庫県議会議員 (1区・灘区)

八田 昌樹 兵庫県医師連盟委員長

吉岡 健 兵庫県議会議員 (3区・垂水区)

伊藤 栄介 兵庫県議会議員 (1区・中央区)

河南 忠和 神戸市議会議員 (中央区)

平井まち子 神戸市議会議員 (長田区)



末松参議院議員



八田県医連委員長

14:00 元町大丸前

〈街頭演説者〉

末松 信介 参議院議員

伊藤 栄介 兵庫県議会議員 (1区・中央区)

堀本 仁士 神戸市医師連盟委員長

吉岡 健 兵庫県議会議員 (3区・垂水区)

河南 忠和 神戸市議会議員 (中央区)

平井まち子 神戸市議会議員 (長田区)



左から 吉岡・伊藤・北浜県議会議員、八田県医連委員長、末松参議院議員、平井・河南神戸市議会議員



左から 吉岡・伊藤県議会議員、河南神戸市議会議員、堀本神戸市医連委員長、平井神戸市議会議員

15：00 JR 明石駅南側

〈街頭演説者〉

鈴木光太郎 明石市医師連盟委員長

松本 隆弘 兵庫県議会議員（明石市）

※終了後、松本県議が選挙カーにて応援演説（JR 加古川駅まで）



左から3番目より 鈴木明石市医連委員長、松本県議会議員

16：10 JR 加古川駅北側

〈街頭演説者〉

山下 仁司 兵庫県医師連盟プロジェクト委員会委員

松本 裕一 兵庫県議会議員（10 区・加古川市）



右から2番目より 織田・中村・大野加古川市議会議員、中田加古川医連委員長、松本県議会議員 左から2番目 山下県医連プロジェクト委員会委員

17：10 JR 姫路駅北側

〈街頭演説者〉

末松 信介 参議院議員

宮下 正人 姫路市医師連盟副委員長・

兵庫県医師連盟プロジェクト委員会委員

水田裕一郎 兵庫県議会議員（11 区・姫路市）

國部 伸也 姫路市医師連盟委員長



前列中央（演説台）から右へ 水田県議会議員、國部姫路市医連委員長、末松参議院議員

かまやちさとし個人演説会



阪神ブロック決起集会

7月12日（土）13時30分より市民健康開発センターハーティ21にて「かまやちさとし阪神ブロック決起集会」が開催されました。かまやちさとし候補、医師連盟関係者に加えて日本介護支援専門員協会中林弘明常任理事、兵庫県同協会山内知樹会長ら介護関係者など総勢88名が出席。司会が私が務めさせて頂きました。

尼崎市医師連盟杉原加壽子委員長からの開会挨拶に続いてQueenの「We will rock you」をBGMにかまやち候補が登場。兵庫県医師連盟八田昌樹委員長の来賓挨拶の後、かまやち候補が熱意溢れる決意表明を行いました。さらに日本医師連盟坂本泰三参与による応援演説、最後にガンバコールを唱和して

投票を8日後に控えた選挙戦終盤の7月12日（土）に、日本医師連盟推薦候補、かまやちさとし先生の神戸ブロック決起集会を神戸市医師会館で開催しました。与党に強い逆風が吹き、比例獲得議席の大幅減が予想される、かつてない厳しい選挙戦となりました。

決起集会には、72名の参加があり、松井誠一郎副委員長の司会で進行し、私の挨拶の後、かまやちさとし候補が登場され、鬼気迫る表情で力強い決意表明をしていただきました。

（五面へつづ）

第1部が終了。かまやち候補は神戸に向かわれました。

第2部では私から期日前投票の重要性和投票方法についてのミニレクチャーを行い、盛会のうちに閉会しました。

尼崎市医師連盟副委員長 兵庫県医師連盟執行委員 原 秀憲

神戸ブロック決起集会





神戸市医師連盟委員長
堀本仁士

障系候補の中でのトップ当選を
目指し、会場は熱気に満ち溢れ、
一体感を強く感じた決起集会で
した。



(四画面より)

最後は、久次米健市副委員長の
音頭で、ブルーの鉢巻をした参
加者全員によるガンバローコー
ルで締めくくりました。

いかに情勢が厳しくとも、こ
れ以上の医療政策の後退は許せ
ないという危機感から、社会保



左2番目より 戸井田・水田・北野県議会議員、末松参議院議員

西部ブロック決起集会

令和7年7月12日(土) 午後
4時50分より、姫路市医師会館
にてかまやちさとし西部ブロッ
ク決起集会が行われました。國
部委員長の挨拶の後、末松信介
参議院議員は今回の選挙ではこ
れまでにない多くの得票を頂戴
することで、現状の厳しい危機
を打破する必要性、さらに医療・
介護・福祉関係者全体の全力の
連携が求められると演説されま
した。次に北野実県議、水田裕
一郎県議、戸井田ゆうすけ県議
の応援演説がありました。最後
にかまやちさとし候補は国民の
健康と医療・介護・福祉の発展
に尽力し、地域医療の持続可能
性と国民の健康維持のため、政
治の場で医療・福祉政策を改善
し、より良い制度を構築するこ
とを約束されました。

最後に大田副委員長のガンバ



ローコールで終了しました。総
勢106人集まりました。司会
は宮下副委員長が務めました。

姫路市医師連盟副委員長
兵庫県医師連盟プロジェクト
委員会副委員長 宮下正人

兵庫県医師連盟ホームページ 随時更新中

医師連盟の主張や意見の広場、
郡市区医師連盟の活動などを掲載しています。

兵庫県医師連盟

検索

<http://www.hyogo-ishirenmei.jp>

第27回 参議院議員選挙結果報告

かまやちさとし氏の 都道府県別得票数

(都道府県別)	「かまやち」 得票数	A①会員 (R6.12)	会員1人 当たり得票率
北海道	3,045	2,054	1.48
青森県	1,256	599	2.10
岩手県	1,932	649	2.98
宮城県	3,158	1,445	2.19
秋田県	1,576	551	2.86
山形県	1,079	632	1.71
福島県	1,874	1,146	1.63
茨城県	2,934	1,348	2.18
栃木県	2,280	1,119	2.04
群馬県	19,399	1,236	15.70
埼玉県	9,250	3,534	2.62
千葉県	3,003	2,937	1.02
東京都	12,262	10,128	1.21
神奈川県	9,053	5,652	1.60
新潟県	1,693	1,184	1.43
富山県	1,117	643	1.74
石川県	3,074	691	4.45
福井県	1,528	433	3.53
山梨県	1,333	522	2.55
長野県	1,646	1,179	1.40
岐阜県	4,170	1,264	3.30
静岡県	5,298	2,251	2.35
愛知県	9,673	4,687	2.06
三重県	1,713	1,127	1.52
滋賀県	1,160	862	1.35
京都府	1,906	2,088	0.91
大阪府	6,485	7,372	0.88
兵庫県	6,387	4,467	1.43
奈良県	2,102	999	2.10
和歌山県	901	854	1.06
鳥取県	956	366	2.61
島根県	1,098	440	2.50
岡山県	2,123	1,253	1.69
広島県	2,967	2,157	1.38
山口県	2,991	1,014	2.95
徳島県	1,545	587	2.63
香川県	1,030	691	1.49
愛媛県	1,518	943	1.61
高知県	959	434	2.21
福岡県	13,861	3,850	3.60
佐賀県	2,147	617	3.48
長崎県	2,979	1,059	2.81
熊本県	6,336	1,249	5.07
大分県	2,717	837	3.25
宮崎県	1,863	761	2.45
鹿児島県	5,197	1,096	4.74
沖縄県	1,859	758	2.45
総計	174,434	81,765	2.13

かまやちさとし氏の 県下郡市区別得票数

(県下郡市区別)	「かまやち」 得票数	A①会員 (R6.12)	会員1人 当たり得票率
神戸市	1,663	1,359	1.22
東灘区	458	201	2.28
灘区	201	145	1.39
中央区	162	218	0.74
兵庫区	54	105	0.51
北灘区	146	150	0.97
長田区	31	94	0.33
須磨区	146	123	1.19
垂水区	216	154	1.40
西宮市	249	169	1.47
伊丹市	457	436	1.05
川西市	123	171	0.72
宝塚市	123	126	0.98
西宮市	296	194	1.53
芦屋市	914	458	2.00
三木市	356	106	3.36
三木市	224	230	0.97
小野市	43	59	0.73
加東市	77	63	1.22
西宮市	26	26	1.00
加西郡	47	38	1.24
加古川市	232	201	1.15
高砂市	62	57	1.09
姫路市	761	375	2.03
神戶市	23	24	0.96
たつの市	147	62	2.37
相生市	76	17	4.47
赤穂市	45	36	1.25
赤穂市	56	8	7.00
佐佐木町	36	13	2.77
朝来市	66	22	3.00
養父市	21	23	0.91
豊岡市	12	16	0.75
美郷町	119	60	1.98
三木市	29	13	2.23
丹波市	78	77	1.01
淡路市	31	28	1.11
洲本町	85	36	2.36
淡路市	74	43	1.72
南あわじ市	39	35	1.11
あわじ市	46	31	1.48
合 計	6,387	4,443	1.40

兵庫選挙区当選者の 市町別得票数

	自由民主党 かた 裕之	公明党 高橋みつお
神戸市	74,965	89,604
東灘区	11,396	9,893
灘区	6,935	6,781
中央区	6,348	6,436
兵庫区	4,365	8,055
北灘区	10,560	16,415
長田区	4,941	7,100
須磨区	8,454	9,572
垂水区	10,046	12,933
西宮市	11,920	12,419
伊丹市	15,053	39,875
川西市	24,222	25,928
宝塚市	6,296	4,668
三木市	10,028	12,586
三木市	12,227	11,729
三木市	8,544	9,739
三木市	6,343	6,593
三木市	1,644	2,073
三木市	10,982	15,054
三木市	12,036	17,193
三木市	4,081	6,158
三木市	1,757	1,913
三木市	1,457	2,069
三木市	2,532	2,613
三木市	4,488	4,980
三木市	2,449	3,365
三木市	2,758	2,541
三木市	2,449	2,222
三木市	1,609	1,145
三木市	27,950	31,361
三木市	1,965	1,976
三木市	4,668	4,589
三木市	2,745	2,826
三木市	2,495	2,842
三木市	1,113	744
三木市	902	1,111
三木市	1,202	1,084
三木市	2,095	2,139
三木市	1,113	1,075
三木市	1,417	1,420
三木市	7,384	4,794
三木市	2,187	1,647
三木市	2,420	2,005
三木市	2,235	1,221
三木市	1,910	999
三木市	2,596	2,807
三木市	3,699	4,722
三木市	2,673	2,808
三木市	3,483	2,966
三木市	3,279	2,638
合 計	285,451	339,823

比例区

2025年7月20日に投票が行われた参議院議員選挙における比例代表の結果、日本医師連盟（日医連）が推薦する、かまやちさとし氏が当選しました。

日医連の組織内候補として、自民党から比例代表で立候補した金范敏（かまやちさとし）氏が、174,434票を獲得し、自民党の比例名簿において8位で、医療関係団体の中ではトップで当選を果たしました。

なお、兵庫県のかまやち氏得票数は6,387票（A1会員、1会員得票数1・43票）で、全国順位は39位でした。

今回の選挙戦では、「人口減少・高齢化が進む中でも、国民にとって必要不可欠な医療施設の突然の崩壊を防ぎ、従事者の生活向上に全力を尽くす」ことを公約に掲げました。日医連委員長の本吉郎氏が、医療・介護・福祉分野の経営難や従事者の処遇改善が喫緊の課題であると訴え、次期診療報酬改定と補助金確保に向けて金范氏への支援を呼びかけるなど、全国の医師会から強力な支持を得て選挙戦を展開しました。

かまやち氏の当選は一議員の誕生に留まらず、医療・介護政策への現場の声の反映、日本医師連盟の政治的影響力の維持・強化、コロナ禍の経験の政策活

用、自民党内における医療政策での発言力強化などを通じて、今後の日本の医療・社会保障政策の方向性や、関係団体の政治的影響力を考察する上で、重要な意味を持つ出来事と言えます。



参議院選挙2025比例代表

- | | |
|------------|----------|
| 1. 自由民主党 | : 39 議席 |
| 2. 立憲民主党 | : 22 議席 |
| 3. 国民民主党 | : 17 議席 |
| 4. 参政党 | : 14 議席 |
| 5. 公明党 | : 8 議席 |
| 6. 日本維新の会 | : 7 議席 |
| 7. 日本共産党 | : 3 議席 |
| 8. れいわ新選組 | : 3 議席 |
| 9. 日本保守党 | : 2 議席 |
| 10. 社会民主党 | : 1 議席 |
| 11. チームみらい | : 1 議席 |
| 12. 無所属 | : 8 議席 |
| 合 計 | : 125 議席 |

選挙区

7月20日に投票が行われた第27回参議院選挙兵庫選挙区（定数3／候補者数13 投票率60・47％）の結果は、泉房穂氏（無所属 新 822,407票）、高橋みつお氏（公明 現 339,822票）、加田裕之氏（自民 現 285,451票）の三氏が当選しました。次点は吉平敏孝氏（維新 新 75,301票）でした。兵庫選挙区では定数が1増えた2016年の第24回参議院選挙以降は自民、公明、維新が議席を確保してきました。今回の参議院選挙では全国的な与党に対する

批判や既成政党離れ、新興政党の台頭など非常に厳しい選挙でしたが、与党の二候補が当選されました。選挙後の多くの分析で指摘されているように兵庫選挙区では当選ライン40万票台と言われていましたが、泉房穂氏が与党に対する批判票や参政党をはじめとする新興政党へ投票される可能性のあった票の受け皿となり80万票以上を獲得されたために当選ラインが下がっており、与党二候補が当選できたといえます。与党である自民党、公明党は今回の選挙で衆参ともに少数与党となりました。結果を真摯に受け止め、次の選挙に備えて一日も早い混乱の收拾と体制の立て直しを期待します。

伝える。届ける。

優れた医療・介護をすべての人へ、次世代へ。

かまやち さとし わたしの思い

「未来に」伝える。届ける。

国民皆保険制度による日本の優れた医療・介護体制を堅持します。小児科医の経験を活かし、子どもたちの笑顔を作ります。すべての人に明るい未来を目指します。

「国民に」伝える。届ける。

感染症等の有事にも、平時の医療体制を提供します。予防できる病気を防ぐため、希望する人へのワクチン接種を推進します。すべての人が健やかに過ごせるよう、健康増進に努めます。

「地域に」伝える。届ける。

医療・介護の従事者を確保し地域医療を充実させます。高齢化率の高い地域でも患者さんを支えます。災害に強い街づくりを推進します。

「行政に」伝える。届ける。

地域保健・公衆衛生活動を充実させます。日本医師会が目指すかかりつけ医機能を推進します。地域の実情に応じた医療現場の声を行政に伝えます。

日本医師会 副会長

かまやち さとし 金范 敏

プロフィール

医師／医学博士／日本小児科学会／

日本小児科医会／日本小児神経学会 会員

趣味：阿波踊り（上州高崎どですけ連 2001 年より）
茶道

1953 年 7 月 5 日 群馬県高崎市生まれ
巳年、かに座

1972 年 東京教育大学附属 駒場高校（教駒）
現）筑波大学附属駒場高校 卒業

1978 年 日本医科大学医学部卒業

1978 年 日本医科大学付属第一病院 小児科 入局

1988 年 小泉小児科医院 院長

2005 年 高崎市医師会 会長

2011 年 群馬県医師会 参与

2014 年 日本医師会 常任理事

2020 年 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議構成員
新型コロナウイルススアドバイザリーボード構成員

2023 年 新型インフルエンザ等対策推進会議委員

2024 年 日本医師会 副会長

2025 年 参議院議員